

平成 27 年 1 月 15 日 (木)

沖縄タイムス (3) 15 年度防衛省予算 陸自 与那国配備を推進
完了想定 2 億円計上 福岡 F15 那覇に 20 機移駐

陸自与那国配備を推進

完了想定 2 億円計上

福岡 F15 那覇に 20 機移駐

【東京】防衛省の 2015 年度予算では、与那国島への陸上自衛隊沿岸監視部隊の配備のための宿舎用地取得費などを計上した。15 年度末までに 150 人規模の配備完了を目指す。在日米空軍第 5 航空団関係費(思いやり予算)や基地周辺対策などの沖縄関係費は総額 1666 億 5300 万円(前年比 0.1%増)で、前年度とほぼ同額を計上した。

15 年度防衛省予算

南西地域の警戒態勢の強化に向けて、航空自衛隊那覇基地の F15 戦闘機部隊を 2 個飛行隊化させ、第 9 航空団(仮称)を 15 年度末までに新編する。築城基地(福岡県)の調査は約 2 千万円を計上した。

福岡県の F15 約 20 機を那覇に移動させ、約 300 人が増員される。宮古、石垣両島を対象にした部隊配備検討のための現地調査は約 2 千万円を計上した。

那覇基地内の病院と民間病院の間の搬送経路、道標など沖縄の医療体制を調べ、医療体制の把握を目的としている。在沖米海兵隊のケア・チーム移駐費は、北マリアナ諸島の訓練場設計費など 17 億円を計上した。

米軍道路整備に 24 億円 基地関連 軍用地料 0.6% 増 98 億円

【東京】2015 年度の在日米空軍第 5 航空団関係費(思いやり予算)や基地周辺対策などの沖縄関係費は、提供施設の移設事業として、宮野湾市の市道 11 号の整備に伴う米軍の巡回道路の移設工事費 23 億 9 千万円を確保した。16 年度に工事が完了する。

提供施設整備費(PIF)は、総額 70 億 4 100 万円(61.1%増)。ホワイトビーチの汚水処理施設(約 20 億円)が計上され、増額となった。普天間飛行場の補修費として隊舎の改修に 8 億 2 100 万円などを計上した。

住宅防音は、50 億 5 300 万円(20.2%減)、認可外保育園などの防音工事補助を含む周辺環境整備費は 12 億 1 千万円(8.1%減)でいずれも前年度比減だが、14 年度の補正予算で計上し、前倒しで執行する。

軍用地の借地料は、98 億 200 万円(0.6%増)。補償費の 10 億 8 500 万円(21%減)は、14 年度末に返還されるキャンプ瑞慶覧の返還跡地への給付金が一部不要となるため減額となった。SACO(日米特別行動委員会)関係は、総額 13 億 1 800 万円(35.6%減)。嘉手納基地の海軍駐機場の移駐に伴う誘導路や格納庫工事、キャンプ森江から移転された海軍病院の工事など 14 年度で完了する大型工事が複数あることが予算削減の要因。北部訓練場のヘリパッド建設費は 4 億 4 千万円を計上した。

2015 年度米軍再編関係経費【沖縄関係】

事項	(単位:百万円、%)			
	14年度 予算額	15年度 予算案	対前年度 増額	対前年度 伸び率
1 沖縄における再編のための事業	2,436	182,471	180,035	74.9倍
(1) 普天間飛行場の移設	2,149	173,553	171,404	80.8倍
(2) 嘉手納以南の土地の返還	287	8,918	8,631	31.1倍
2 再編交付金	1,800	4,088	2,288	2.3倍

注:計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。